

第一段

1 ・時効について

- ・「権利の上に眠る者は、民法の保護に値しない」

言い換え

- ・請求するといつ行為をしないで、債権者であるという位置に安住していると、債権を喪失する。

ロジック

- ・請求することによって、債権者である。

2 ・憲法について

- ・「自由や権利は不断の努力によって保持しなければならない。」

- ・主権者であることに安住して、権利を行使することを怠っていると、主権者であることを失つ。

- ・権利を行使することによって、主権者である。

3 ・自由について

- ・「自由を祝福することは易しい。

である

自由を擁護することは困難である。

である + する

自由を行使することは更に困難である。」

する

- ・自由を祝福している間に、自由ではなくなっている。

- ・自由になるつとすることによって、自由でありつる。

4 ・自由人について

- ・自分は自由であると信じている

自分の思考や行動を点検しない。

自分の偏見から自由でない。

- ・自分の偏向性を見つめている

自分は自由だと思つていない